

テーマ「福岡市いじめゼロプロジェクト」

副題「～いじめゼロサミット2014・いじめゼロ実現プロジェクトの取組を通して～」



実施主体：福岡市教育委員会

協力団体：福岡市立小中学校校長会、福岡市PTA協議会
全小中学校児童会・生徒会



【取組の概要】児童会・生徒会の活性化

- (1) いじめ撲滅をめざして児童生徒が主体的に取り組み、本事業の成果を各学校にフィードバックし、いじめ問題に対する児童会・生徒会等の活動を活性化させる。
- (2) 保護者・地域・企業等に広く啓発活動を行い、ネットいじめの未然防止に向かう子どもたちを支援する意識を高め、その体制を構築する。
- (3) 「いじめ防止対策推進法」のいじめの定義にもあるように、ネット等によるいじめも社会問題化していることから、いじめゼロプロジェクトやいじめゼロサミットにおいて必ず取り上げ、話題にするようにする。



生徒会によるケータイ・スマホに関する「パネルディスカッション」

1 本事業に取り組んだ理由(課題を含めて)

いじめを生まない学校づくりの必要性

○いじめの問題は、社会的にも早急に対応すべき問題となっている。いじめは、どの学校にも、どの子どもにも起こりうることを事実として受け止め、事後に対処するという発想から、いじめがおきにくい学級やいじめを生まない学校をつくる「未然防止」に力をいれる必要がある。

また、このように報告されているいじめ事案には、携帯電話やスマートフォンでのやりとりが絡んでいることが多く、児童生徒が主体となったケータイ・スマホに関する「いじめゼロプロジェクト」に取り組む、児童生徒のための、児童生徒による「いじめゼロサミット」など様々な取組を実施する。

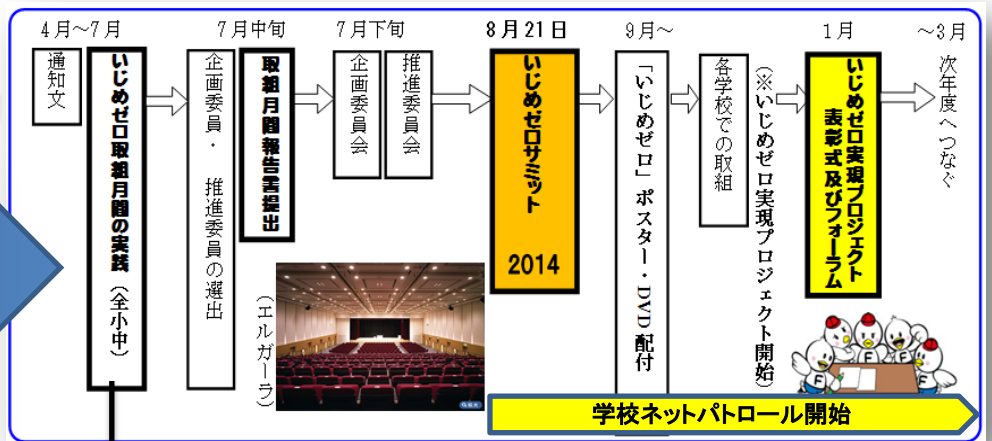
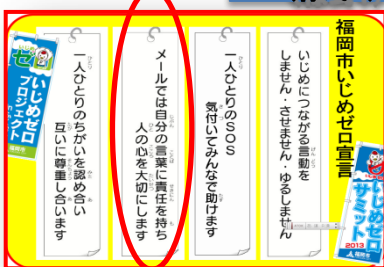


「いじめゼロサミット2014」シンポジウム

2 実施スケジュール

<各学校のいじめゼロ計画>

・福岡市いじめゼロ宣言に基づいた実践をする。**生徒指導推進計画(様式1)**



3 事業展開

サミットに向けて「いじめゼロ取組月間」全学校で事前活動

<いじめゼロ取組月間>

- ・各学校で実態に応じて、1学期に「いじめゼロ取組月間」を設定し実践する。
- ・福岡市いじめゼロ宣言に基づく実践を行う。(様式1-右)
- ・活動の様子がはっきりとわかるような記録写真とともに報告する。(報告書)

<様式1> いじめゼロ取組月間報告書

学校指導課長 様
学校番号：2 学校名：天神小学校 学校長名：福岡 太郎 印

1 取組の名称
取組名：天神小学校！いじめゼロ！ハートフル月間！

2 取組の重点
取組の内容に最も近いもの1つ○を付けて下さい。
<例>○○○は全校いじめゼロ大作戦

いじめの1つを避ける	<input type="checkbox"/>	(さない) いじめにつながる言動を、しません・させません・ゆるしません
いじめを減らす	<input type="checkbox"/>	(気持ち) 福岡→入むとりのSOS 気づいてみんなでおぼます
いじめをなくす	<input type="checkbox"/>	(情報モラル) メールでは自分の言葉に責任をもち、人の心を大切にします
いじめをなくす	<input checked="" type="checkbox"/>	(共生) 一人ひとりのちがいを認め合い 互いに尊重し合います

小中連携 小中連携した取組の場合は、ここにも入れる。



全校生徒による「いじめゼロ取組月間」

4 事業の成果(効果)

宣言・提言の発信と課題の明確化

- 平成26年度「いじめゼロサミット2014」開催
 - ・「いじめゼロの日」を採択。(毎月10日)
 - ・ケータイ、スマホについての内容を盛り込んだ「今後の取組の重点」を決定
- いじめゼロ実現プロジェクトの実施(表彰式・フォーラム)
- 平成25年度のいじめの認知件数32件減少(83件→51件)
- 平成26年12月現在のいじめの認知件数41件

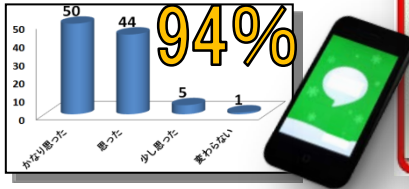
NextStep! 福岡市いじめゼロ宣言

今後の取組の重点

重点	いじめにつながる言動を しません・させません・ゆるしません
重点	まず自分の発言や行動を見直そう。 何でも話しやすい雰囲気のあるクラスをつくらう。
重点	一人ひとりのSOS 気付いてみんなで助けます
重点	一人ひとりが互いをよく知り、信頼関係を深めよう。 みんながSOSに気付く学校をつくろう。
重点	メールでは自分の言葉に責任を持ち 人の心を大切にします
重点	メールでは思いやりのある言葉を使おう。 夜10時以降は、携帯電話やスマートフォンを使わないようにしよう。
重点	一人ひとりが互いを認め合い 互いに尊重し合います
重点	一人ひとりが互いを認め合い 互いに尊重し合います
重点	一人ひとりが互いを認め合い 互いに尊重し合います
重点	一人ひとりが互いを認め合い 互いに尊重し合います
重点	一人ひとりが互いを認め合い 互いに尊重し合います

サミットで出された「今後の取組の重点」

<いじめゼロサミット2014
終了後のアンケートより>
設問：いじめ問題解決のために
進んで行動しようと思いま
したか？



5 事業を成功させるためのポイント

児童生徒の意識の連続と市民啓発

- 「夜10時以降はケータイ・スマホはダメ!」のメッセ
ージ入り、「いじめゼロ」ポスターを全小中学校・全公民館へ
配付・掲示
- 「ケータイ・スマホについてのシンポジウムを収録した
「いじめゼロサミット」のDVDを全小中学校・全公民館へ
配付・活用
- 教育委員会や単位
PTAも学校と一体とな
って取り組み続ける。



心算くまづくり事業 ～いじめゼロプロジェクト～

毎月10日は福岡市「いじめゼロの日」

一人ひとりの
ちがいを認め合い
互いに尊重し合います

一人ひとりのSOS
気付いて
みんなで助けます

メールでは
自分の言葉に
責任を持ち
人の心を
大切にします

いじめにつながる
言動を
しません
させません
ゆるしません

取組の重点 夜10時以降は、
ケータイ・スマホはダメ!

全小中学校・公民館配付の「いじめゼロ」ポスター

6 今後の展開(継続・発展させていくために)

市P協・関係諸機関との連携

- 多面的に情報を共有し合い連携を深める
- ・教育委員会では、福岡市PTA協議会をはじめ、関係諸
機関と相互に連携し合い、多面的に情報を共有していく中
で、児童生徒の問題行動等に対応する。
- 特にケータイ・スマホについては、連携を深めながら対
応しており、中学校の入学説明会では、啓発チラシを配
付し「中学生にスマホって本当に必要？」のメッセージと
ともに、本当にケータイやスマホが必要かどうか、家族で
話し合うように促す。

中学生にスマホ…本当に必要?
(小学校6年生の保護者の方へ)

心配だなぁ
遅くなるし
寝る時も
始まるし
部活も
スマホって
持ってるって
いうけど…

中1のスマホ所持率は約3割

本市の調査(※1)では、スマホを持っている
中学1年生は34%。持たせてない家庭の
ほうがずっと多いので、
学校から生徒への(部活等の)連絡にスマホ
を使うようなこともありません。

※1 平成25年度福岡市教育委員会「小中学生のメディアに
関する意識と生活」アンケート調査

(一部抜粋)

全小中学校配付の市P協作成「ケータイ・スマホ夜10時電源OFF運動」のぼり

7 その他

- 「思いやりパスポート」(いじめのない楽しい学校生活を送るためのパスポート)
を全小中学校の児童生徒約12万人に配付。
- <主な内容>
 - 自分が言われたらうれしい、他の人にも言いたいふわふわ言葉
 - インターネット、SNS、メールの恐さ
 - きみがされていやなこと、うれしいことはどんなこと?
 - こんなことが、きみの周りで起こってしまったら
 - いじめが「犯罪」につながることもある?
 - みんなで決めた福岡市いじめゼロ宣言
 - マンガ ～「こんな時どうする」～



インターネット、SNS、メールの恐さを知らない…

帰宅後も、新学期に行く前にSNSで自分の愚言を言か
ないか、お友達がなく嫌な学校に行けないという友達
います。

このメールはどんな内容で
書いていると思う?

うんどう
あるの? 返信して
あきらめよう? 返信に
返信に
返信に
返信に
返信に
返信に

(一部抜粋)

8 参考資料等

<福岡市いじめゼロのホームページを開設> <http://www.city.fukuoka.lg.jp/kyouiku/>

福岡市教育委員会
Fukuoka City Board of Education

学校ネット
パトロール

いじめゼロ
実現プロジェクト